

平成 20 年度事業報告書

平成 20 年 4 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 奥州街道会議

1 事業の成果

法人設立から 3 期目を迎え、事業規模が初めて 1,000 万円を超えた。

4 月には宮城事務所を開設し、法人設立当初からの目標であった従たる事務所の設置ならびに内閣府への所轄庁の変更も実現することとなった。

これらの事業規模、範囲の拡大とともに業務量も増加してはいるが、理事、サポーター会員、各県連携団体の協力により、昨年度までの課題であった業務実行体制に関する課題はほぼ克服できたと考える。

特に今年度は、「とうほく街道会議」の組織体制の変更に伴う事務局運営から、岩手県内の新たな街道交流会立ち上げ、宮城県での交流大会の開催、青森県の交流大会開催準備にも関わり、これまで以上に各県団体との連携を深めることができた。

また、個別事業においても、宮城県内の奥州街道調査の終了、街道情報を提供するホームページの開設運営など当初目標を達成する成果を挙げ、着実にミッションに向かって発展している。

しかしこのように規模が拡大する一方、現状では企画競争、公募等による受託事業の比率が高く安定性に欠ける面もあり、活動費の安定確保が一つの課題である。他団体を支援し、地域活性化に寄与する活動を継続しつつ、現在の活動を持続可能なものとする仕組みや自主事業による活動費の確保も今後数年間の新たな目標であると考えます。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(千円)

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者 の範囲 (E) 人数	収支計算 書の事業 費の単位 (単位： 千円)
奥州街道に 関係する交流 連携促進の 実践と支援事 業	宮城県基礎資料収集業務 (宮城県内の地域資源調査を継 続し、全域の調査終了。マップも 試作し、提案を行った。)	(A) 10月～2月 (B) 宮城県内 奥州街道沿線 (C) 4人	(D) 宮城県内 (E) 20人	1,677
	とうほく街道会議仙台・宮城大会 の運営支援 (東北地区を中心とした実践者 交流を実施。歴史と観光、地域 づくりをテーマに学んだ。)	(A) 4月～12月 ／開催日 11月 21日, 22日 (B) 宮城県仙台市 (C) 30人	(D) 東北全域 (E) 370人	
道を活用した 地域づくり活 性化の実践と 支援事業	まちめぐりナビプロジェクト (街道情報のホームページを作 成。旅行者、街道歩きの高いニ ーズに対応し、情報発信力を向 上させた。)	(A) 10月～3月 (B) 岩手県 二戸市・一戸町 (C) 8人	(D) 全国の旅行 者、街道愛好家 (E) 7,638人	5,379
道に関する政 策提言事業	奥州街道温故知新の道づくり (日本風景街道への登録ルート 内で、道を活かした活動支援・提 案の継続と、支援センター設置 について模索した。)	(A) 9月～3月 (B) 岩手県 盛岡市～二戸市 (C) 4人	(D) 対象地域住 民 (岩手県盛岡市、 一戸町、二戸市) (E) 32人	415
その他この法 人の目的を達 成するために 必要な事業	いわて街道交流会の設立・運営 支援 (会の立上から運営までの 事務局支援を実施し、岩手県内 における活動を活性化した。)	(A) 6月～3月 (B) 岩手県盛岡市 (C) 4人	(D) 岩手県内 (E) 114人	4,783
	とうほく街道会議の事務局運営 (組織体制、事務局体制が新た になったとうほく街道会議の事務 局を実施。)	(A) 7月～3月 (B) 岩手県盛岡市 (C) 4人	(D) 東北全域 (E) 140人	
	団体運営・会員管理業務 (新たに宮城事務所を開設し、サ ポーターの協力も得て運営。その 他活動紹介リーフレット作成や、イ ベント時の情報発信等を強化した。)	(A) 4月～3月 (B) 岩手県盛岡市、 宮城県仙台市 (C) 16人	(D) 東北全域 (E) 16人	